

芦屋市谷崎潤一郎記念館一日講座

元号文化と改元の歴史

「大化」から「平成」まで日本の元号には1300年以上にわたる歴史があります。元号はどのようにして始まったのか？ 「明和」が9年で改元した驚きの理由とは？ 文豪・森鷗外は「大正」がお気に召さなかった!? ——平成の終わりを前にして、元号にまつわる知られざるエピソードを久禮旦雄・京都産業大学准教授が分かりやすく解説します。元号から見えてくる日本の歴史と文化について、楽しみながら考えましょう。



講師略歴 久禮旦雄（くれ・あさお）

京都産業大学法学部准教授（日本法制史）
1982年大阪府生まれ。博士（法学・京都大学）。
著書に「日本年号史大事典」（共著、雄山閣）、
「元号 年号から読み解く日本史」（共著、文春新書）ほか。

日時：2018年11月11日（日）午後2時～3時30分

会場：芦屋市谷崎潤一郎記念館講義室

定員：40人（先着順、要申込み）

受講料：1,000円（入館料込み）

問合せ・申込み：下記までメール、FAX またはお電話で、お名前とお電話番号をお知らせください。

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15
芦屋市谷崎潤一郎記念館

TEL 0797 (23) 5852

FAX 0797 (38) 3244

e-mail ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.tanizakikan.com>



参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する大阪よみうり文化センターの個人情報取扱方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。詳しい内容については同センターのホームページ (<http://www.oybc.co.jp>) をご覧ください。